

1 / 2

中	
中上老	
○	
老	
上	
中	
○	
尺	
尺	
中	
中上中	
○	
中	
○	

乙	エー	
○		
老乙上	さては	
上		
上中○尺中上老乙乙	一座の	
○		
尺中尺	皆様へ	
尺五五		
六五		

尺中尺中上	○上中中○尺中上老	乙	老乙上上上○○中尺	中上老乙
ちよいと出ました私はおみかけ通りの悪声で				ヨ
				ホー

[illegible][illegible][illegible]

中	ソ
中上老	ラ ヨ
○老上上中	イトコ サツ
○	
尺	サ
尺	ノ
中	ヨイ
中上中	ヤ サツ
○	
中	サ
○	

[illegible]

中	ヨ
上老老	ー ホ
乙乙乙	イ ホイ
○	
中	エンヤ
中中中	コラセ
○上老	ドツ
上	コイセ
中	

河内音頭 囃し

本調子

2/2

一、エーさては一座の皆様へ
ちよいと出ました私
はおみかけ通りの悪声で ヨホーイホ
イ
まかり出ました未熟者お気に召すよ
うにや
読めないけれど 七百年の昔より
唄い続けた河内音頭にのせまして
せいこんこめて唄いましよ
ソラ ヨイトコサツサノ ヨイヤサ
ツサ
エー 大和と河内の国境
中にひとときわ悠然と
ヨーホイホイ エンヤコラセ
ドッコイセ
そびえて高き金鋼山 ㊦よ 建武の昔
大楠公
その名も 楠正成公 今に伝えた民
謡
河内音頭と申します 聞いておくれ
よ
荷物にやならぬ 聞いて心も
うきうきしや
んせ
気から病が出るわいな
唄の文句は小粋でも 私しや未熟で
とつてもうまくも きつちり實際ま
ことに
みごとに読めないけれど
八千八声のほととぎす
血をはくまでも つとめましよ